

第30章 地域編⑥：スマトラ

1. 地域概要

(1) 概要

①インドネシア国内における経済的地位

スマトラは、インドネシアの西端に位置する4大島の1つで、島としては世界第6位の面積を有している（約48万km²、日本の約1.3倍）。形状は北西から南東に細長く、南西はインド洋に、北東はマラッカ海峡と南シナ海に面し、ほぼ中央を赤道が走る（図表30-1）。

スマトラは10州（アチェ州、バンカ・ブリトゥン州、ブンクル州、ジャンビ州、ランプン州、リアウ州、リアウ諸島州、西スマトラ州、南スマトラ州、北スマトラ州）からなる。スマトラ最大の都市は北スマトラ州の州都メダン市で、同国の5大都市の1つである。

図表 30-1 スマトラの位置



（出所）白地図専門店（三角形）より作成

スマトラは、オランダ植民地時代の19世紀後半からタバコ、コーヒー、ゴム、茶、胡椒、カカオ、パームオイルなどのプランテーション栽培が活発に行われている。森林資源にも恵まれ、木材関連産業も発達している。また、天然資源が豊富で、石油、天然ガス、錫、ボーキサイト、石炭などが産出されている。

これらの点から、スマトラ進出に関しては、天然資源開発や農作物の大規模栽培を目的とした進出であれば、一定のメリットがあるといえる。一方、輸出型製造業にとっては、裾野産業の発達が遅れていること、一大消費地ジャカルタと離れていることなどにより、進出の魅力度はジャワと比較すると、やや低いといえよう。

②工業団地・日系企業進出動向

2021年のスマトラの海外直接投資（FDI）の受入総額（実行ベース）は約54億ドル（インドネシア全体の17.9%相当）で、外国直接投資の集積地としては、ジャカルタ首都特別州とほぼ同水準となっている。州別に見ると、北スマトラ州（16.2億ドル）が最も多く、南スマトラ州（14.7億ドル）、リアウ州（12.6億ドル）、リアウ諸島州（10.4億ドル）となっている。

インドネシアの豊富な資源はスマトラ島に集中していることもあり、日系企業の進出動向を見ても商社やプラント企業によるインフラ開発、資源関連プロジェクトが多く実施されている。一方、シンガポールに近いバタム島は、製造業の加工拠点としての魅力もあり、製造業への進出が多く、中でも電気機器メーカーが目立っている。

北スマトラ州に位置するメダン工業団地は、インドネシア財務省、北スマトラ州政府、メダンの共同出資による開発公社（PT. Kawasan Industri Medan）が運営する工業団地であり、総面積、進出企業数でスマトラ最大級の工業団地となっている（バタム島を除く）。ただし、バタム島を除けば、現状、スマトラに進出している日系企業は少ない。

(2) 進出日系企業から見た事業・生活環境やコスト

スマトラにおいては、アチェ州サバン島が自由貿易区（FTZ）に、リアウ州のナツナ島とアチェ州サバンの2地域が経済統合開発地域（KAPET）に指定されている。このため、これらの地域へ進出した場合は優遇措置を受けることができる。また、スマトラでは、KEK Arun Lhokseumawe（アチェ州）、KEK Sei Mangkei（北スマトラ州）、KEK Galang Batang SEZ（リアウ諸島州）、KEK Batam Aero Technicの4つの経済特区（SEZ）が稼働している。経済特区内で事業を行う企業は、所得税や付加価値税、奢侈税の優遇や、許認可の便宜措置が付与される。

①インフラ・物流

【空港】

スマトラには国際空港が3つある。1つは北スマトラ州メダンのクアラナム国際空港で、もう1つは西スマトラ州パダンのミナンカバウ国際空港、もう一つが南スマトラ州パレンバンにあるスルタン・ムハンマド・バダルディン2世国際空港である。クアラナム国際空港は、航空需要の増加に伴い、2013年7月にそれまでのポロニア国際空港に代わって開港した。

【市内交通】

メダン市内では、近年、車が増えており、時間帯によっては渋滞が見られる。

【電力】

国営電力会社 PLN が電力供給を行っている。北スマトラ州サルーラ地区や南スマトラ州ランタウ・デタップで日本企業が地熱発電プロジェクトに参画している。

②労働事情

【人材】

スマトラの人口は約 5,855 万人（同国全体の 21.7%）である。2022 年 8 月の失業率は、北スマトラ州で 6.16%、西スマトラ州で 6.28%、リアウ州で 4.37%と、北スマトラ州、西スマトラ州は全国平均（5.86%）より高い。このため、ワーカーの採用に際し、人材不足の問題はないと考えられる。

【賃金】

スマトラ島の各州の賃金水準は全国平均を上回っている。2022 年の月額最低賃金では、バンカ・ブリトゥン州の 326 万ルピアがスマトラ島内で最高である。この他、アチェ州（317 万ルピア）、南スマトラ州（314 万ルピア）、リアウ諸島州（314 万ルピア）となっている。

③生活環境

【一般】

北スマトラ州の州都メダン市はインドネシア第 5 の大都市で、生活環境は比較的整っている。

【食事】

多くはないが日本食レストランはあり、寿司を提供するレストランや、ラーメン店もある。その他中華料理店、韓国料理店、タイ料理店などがある。

【教育】

日本人学校は 2002 年に廃校となっており、現在、開校している日本人学校はない。インターナショナル・スクールでは、国際バカロレア認定を受けた小・中学校課程を提供する“Medan Independent School”が 1969 年から開校している。

【住居】

住環境面では、メダン市のポロニア地区が外国人が多く居住する高級住宅街として知られる。

【治安】

同地域最大都市であるメダン市はインドネシア内でも特に治安の悪い都市といわれている。また、反政府組織の活発であったアチェ州では、独立派組織「自由アチェ運動」（GAM）による大規模な独立運動が行われた。2005 年 8 月に政府との間で正式に和平合意がなされた。

しかし、日本の外務省の「海外安全ホームページ」では、アチェ州について「一部の県では武器弾薬が残存していると見られ、銃器などを使用した犯罪がたびたび発生しているほか、覚せい剤などの薬物も多く出回っていることから、治安情勢には十分注意してください」との危険情報が発出されている（2022年12月現在）。

なお、同州は国内の他州と異なり、厳格なイスラム法が適用されているため、許可された場所以外での飲酒は避けることが求められる。

【その他】

日本人会（メダン・ジャパンプラブ）があり、親睦会や、企業見学会などのイベントが開催されている模様である。

2. 主要工業団地

スマトラ島に立地する主要工業団地を以下の表にまとめた。

No.	工業団地名	Address (県/市)
1	Medan Industrial Estate (Kawasan Industri Medan)	Wisma KI M, Jl. Pulau Batam No.1 Komplek KIM Tahap II, Medan 20 242, Sumatera Utara
2	MedanStar Industrial Estate	Jl. Medan - Lubuk Pakam km 19, Tanjung Morawa
3	Meil Nusantara Development	Jl P Menjangan MEDAN
4	Pondok Tirta Satria	Jl Raden Saleh 69 MEDAN 20111
5	Pulahan Seruai Industrial Estate	Jl. Tangkul Seruwei - Kawasan Industri Lamhotma, Belawan - Medan
6	Padang Industrial Park	Komplek Kawasan Industri Padang Jl. By-Pass Kec. Batang Anai, Kab. Padang Pariaman, West Sumatera
7	Dumai Industrial Estate	Jl. P. Sumatera No.1, Kawasan Industri Dumai, Pelintung -Medang Kampai, Dumai

(出所) 日本アセアンセンター